

2020年度決算の概要及び 2021年度業績予想の概要













三井化学株式会社










2021年5月13日

本資料の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

1. 2020年度決算の概要

1) 主要関連指標動向

関連指標		20年度決算		前年比	
		上期	下期		
自動車生産台数(世界) *				Δ8%	
日本	中国を除き グローバルに大幅 減産	各地域で前年 水準並みに 回復 ASEANは 緩やかに回復	    		
北米					
中国					
ASEAN					
欧州					
半導体市場 *				+5%	
市況	フェノール	アセトンの海外市況は、 消毒用途の需要増により 前年を上回る	ビスフェノールAの海外 市況は、需給環境が 逼迫し前年を大幅に 上回る	  	
	ビスフェノールA				
	アセトン				
	TDI	市況は低水準	下期より回復		
クワッカー稼働率		1Q 低稼働 2Q以降 高稼働	高稼働		

21年度予想	
+10%	
グローバルに生産 回復 上期半導体不足 による影響懸念	    
+8%	
ビスフェノールAの海外 市況は、 上期：高水準で推移 下期：下落を見込む	  
市況改善	
高稼働	

* 外部機関参考による当社推定値

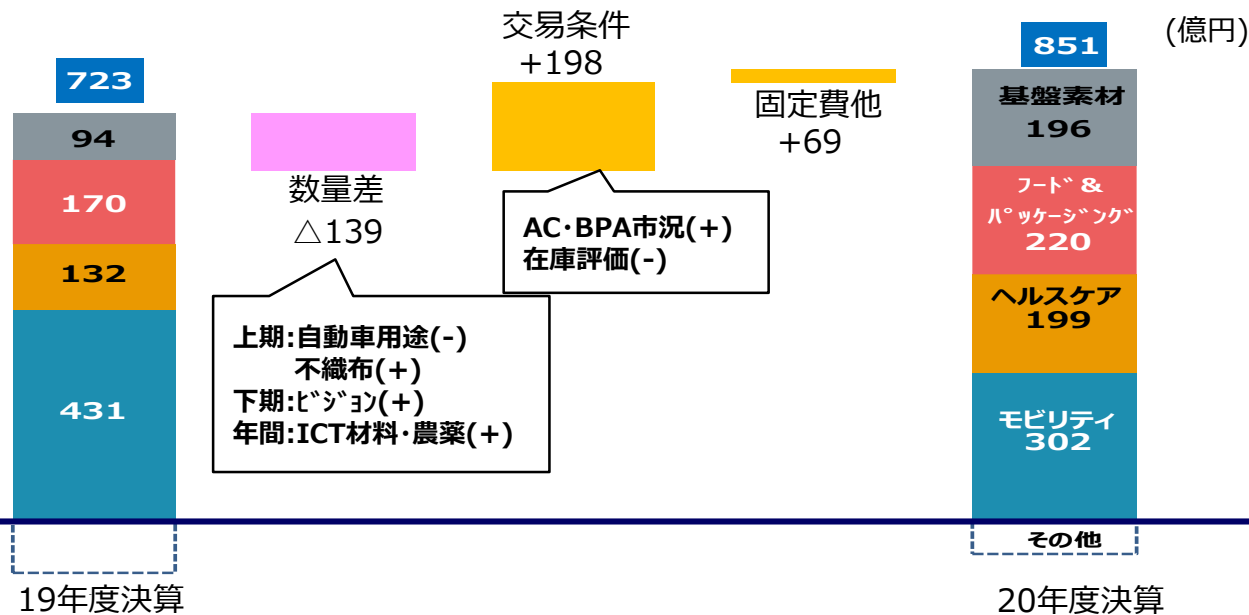
2-1) 決算の概要

(単位：億円)

摘 要	19年度	20年度	増減	増減率
売上収益	13,495	12,117	△ 1,378	△10%
コア営業利益	723	851	128	18%
(うち、持分法による投資損益)	45	60	15	33%
非経常項目	△ 77	△ 70	7	-
営業利益	646	781	135	21%
金融収益・費用	△ 38	△ 39	△ 1	-
税引前利益	608	742	134	22%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	340	579	239	70%
為替レート(円/US\$)	109	106	△ 3	
国産ナフサ(円/KL)	42,900	31,300	△ 11,600	

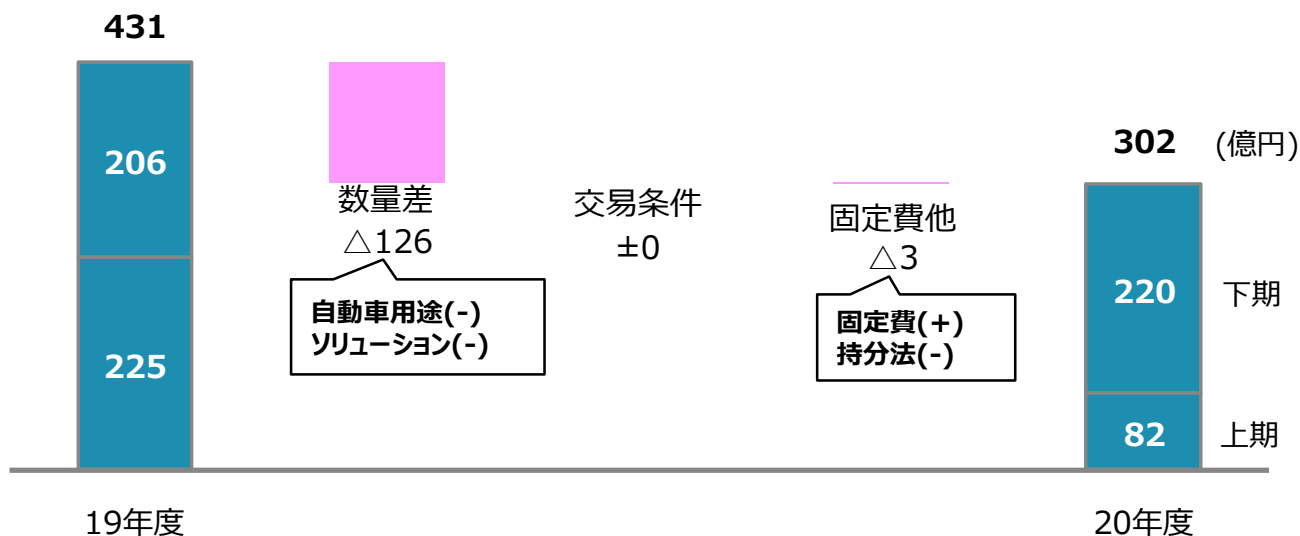
2-2) 決算の概要 (コア営業利益)

- 上期：①COVID-19の影響を受け、グローバル自動車生産台数の落込み、経済活動の制限により、販売は減少
 ②不織布は、おむつ、マスク及び医療用ガウン向けの販売が堅調に推移
 ③アセトンの海外市況は、消毒用途の川下製品の需要増加により前年を上回る水準で推移
 ④原料価格下落により、基盤素材を中心に在庫評価損(含むフォーミュラー期ずれ影響)を計上
- 下期：①各セグメント共に販売は概ね前年並みまで回復
 ②ビジョンケア材料は、上期からの反動等により販売は堅調に推移
 ③ビスフェノールAは、需給環境が逼迫し市況は前年を大幅に上回る水準で推移
- 年間：①ICT関連材料及び農薬の販売は、年間を通し堅調に推移
 ②固定費の削減



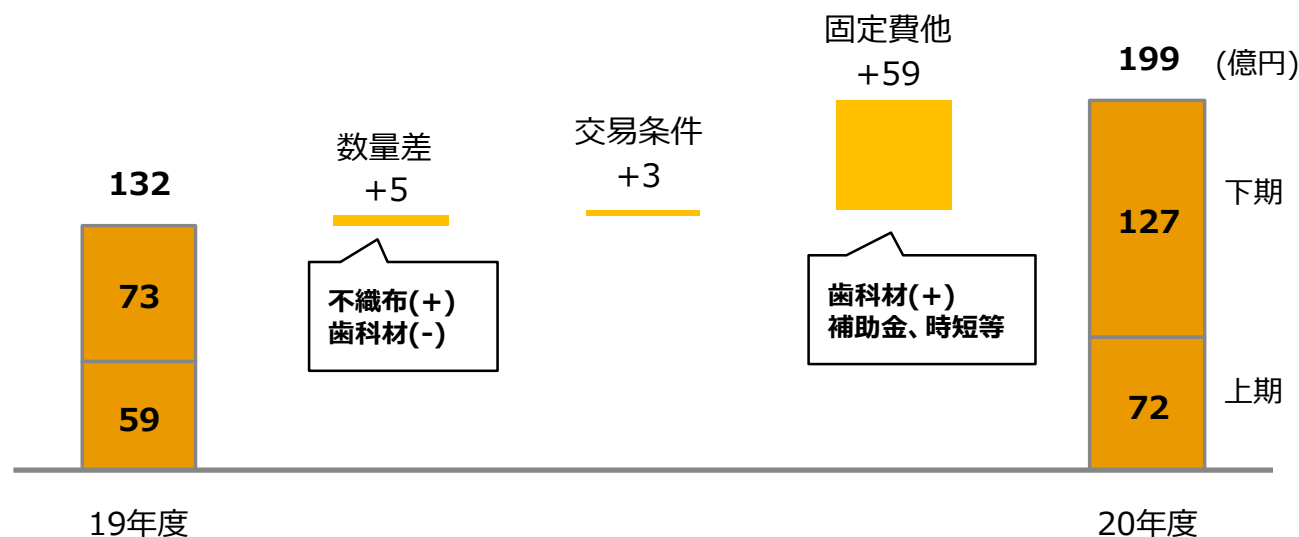
3-1) モビリティ:コア営業利益増減/事業動向変化

	コア営業利益の方向感	'19→'20	19下→20上	20上→20下
	20年度決算			
PPコンパウンド エラストマー 機能性コンパウンド	<ul style="list-style-type: none"> ・上期：自動車生産台数の落ち込みに伴い販売減 ・下期：自動車生産台数の回復に伴い販売増 原料価格上昇に伴い交易悪化 	数量(-) 交易条件(-) 固定費(+)	数量(-) 固定費(+)	数量(+) 交易条件(-)
機能性ポリマー	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT関連材料の販売は堅調に推移 	交易条件(+) 固定費(+)	交易条件(+) 固定費(+)	交易条件(+)
ソリューション事業	<ul style="list-style-type: none"> ・展示会の中止等による試作案件の受注減により販売減 	数量(-) 固定費(+)	数量(-) 固定費(+)	-



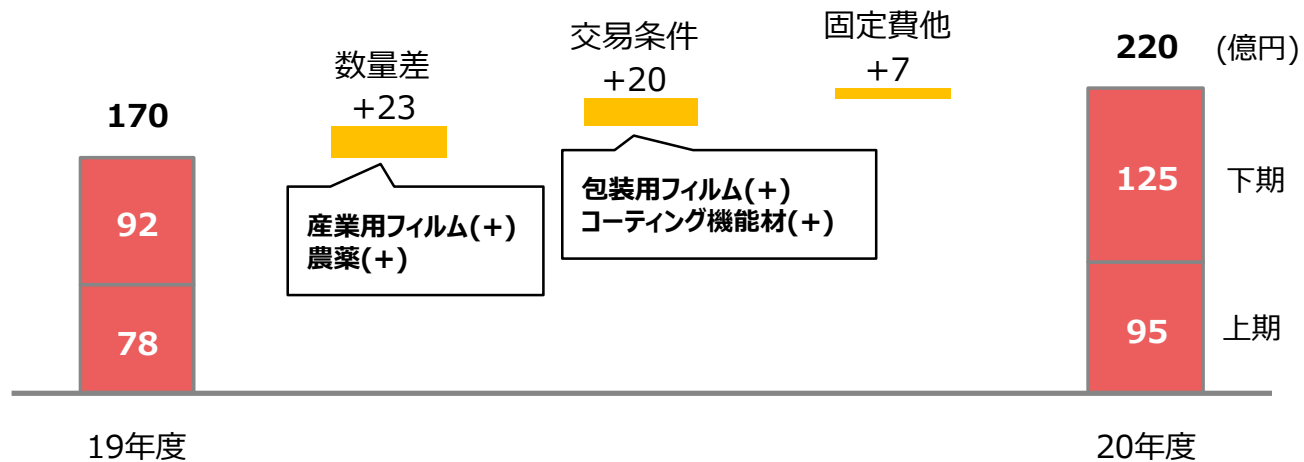
3-2) ヘルスケア:コア営業利益増減/事業動向変化

	コア営業利益の方向感		'19→'20	19下→20上	20上→20下
	20年度決算				
ビジョンケア	➡	上期：経済活動制限により販売減 下期：上期からの反動等により販売は堅調に推移	数量(±) 固定費(+)	数量(-) 固定費(+)	数量(+)
不織布	➡	上期：おむつ、マスク、医療用ガウン向けの販売が堅調に推移 下期：COVID-19による品薄状況は解消し販売減	数量(+) 固定費(+)	数量(+) 固定費(+)	数量(-)
歯科材	➡	上期：経済活動制限により販売減 下期：販売は概ね前年並みに回復	数量(-) 固定費(+)	数量(-) 固定費(+)	数量(+)



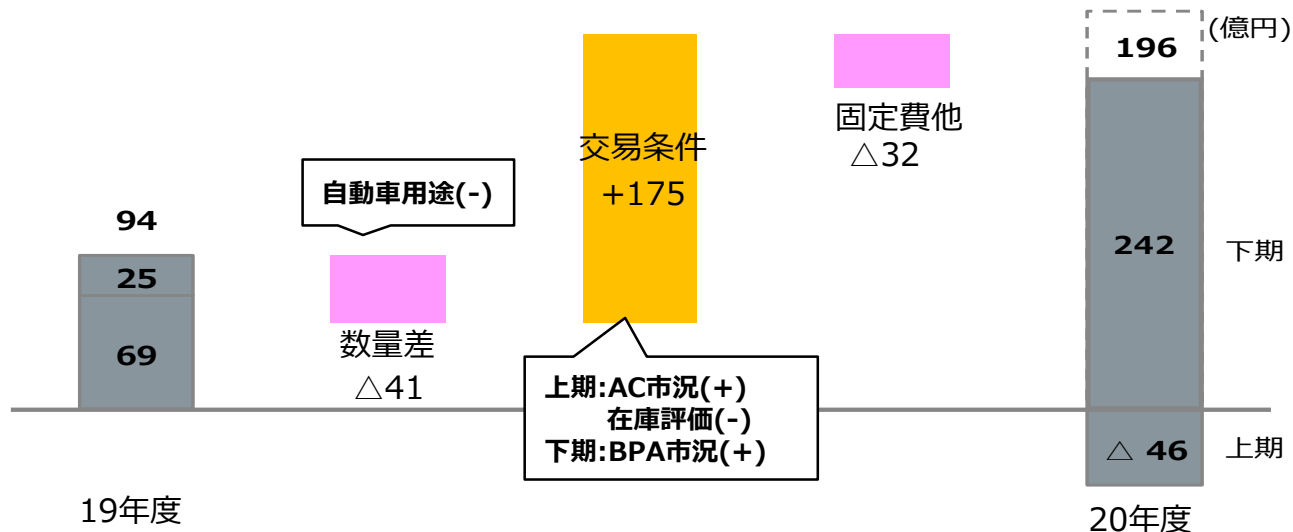
3-3) フード&パッケージング:コア営業利益増減/事業動向変化

	コア営業利益の方向感		'19→'20	19下→20上	20上→20下
	20年度決算				
包装用フィルム	➡	・販売は堅調に推移	取引条件(+) 固定費(+)	取引条件(+) 固定費(+)	取引条件(-)
産業用フィルム	➡	・半導体需要増に伴い堅調に販売増 ・台湾稼働増による固定費増加	数量(+) 固定費(-)	数量(+) 固定費(-)	数量(+)
農薬	➡	・海外向けの販売が増加	数量(+) 固定費(+)	数量(-) 固定費(+)	数量(+)



3-4) 基盤素材:コア営業利益増減/事業動向変化

	コア営業利益の方向感	'19→'20	19下→20上	20上→20下
	20年度決算			
石化	<ul style="list-style-type: none"> 上期：川下製品の需要減少を受けクラッカーは低稼働 原料価格下落による在庫評価損計上(含むフォーミュラ期ずれ) 自動車用途を中心に減販 下期：川下製品の需要回復に伴いクラッカーは高稼働 自動車用途を中心に販売は回復 	数量(-) 在庫(-)	数量(-) 在庫(-)	数量(+) 在庫(+)
基礎化	<ul style="list-style-type: none"> 上期：アセトンの海外市況は、消毒用途の川下製品の需要増加により 高水準で推移 下期：ビスフェノールAの海外市況は、需給環境が逼迫し高水準で推移 	数量(-) 交易条件(+)	数量(-) 交易条件(+)	数量(+) 交易条件(+)
ウレタン	<ul style="list-style-type: none"> 上期：市況は低水準で推移 下期：市況は改善するも損益への影響は限定的 	持分法(-)	持分法(-)	持分法(+)



4) 非経常項目の内訳

(単位：億円)

摘 要	19年度	20年度	増減
固定資産処分・売却損益	2	△ 7	△ 9
減 損 損 失	△ 64	△ 81	△ 17
関 連 事 業 損 失	△ 23	0	23
そ の 他	8	18	10
非経常項目 合計	△ 77	△ 70	7

5) 財政状態計算書

(単位：億円)

摘要	20年3月末	21年3月末	増減
流動資産	(7,818)	(7,876)	(58)
現金及び 現金同等物	1,646	1,960	314
営業債権	2,739	2,858	119
棚卸資産	2,843	2,588	△ 255
その他	590	470	△ 120
非流動資産	(7,487)	(7,705)	(218)
有形固定資産及び 使用権資産	4,997	5,020	23
のれん及び 無形資産	262	208	△ 54
非流動の その他の資産	2,228	2,477	249
合計	15,305	15,581	276

摘要	20年3月末	21年3月末	増減
負債	(9,208)	(8,760)	(△ 448)
営業債務	1,210	1,197	△ 13
有利子負債	5,994	5,638	△ 356
その他	2,004	1,925	△ 79
資本	(6,097)	(6,821)	(724)
親会社の所有者に 帰属する持分	5,292	6,079	787
非支配持分	805	742	△ 63
合計	15,305	15,581	276

6) キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

摘 要	19年度	20年度	増減
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	1,422	1,743	321
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 1,091	△ 775	316
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	331	968	637
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 64	△ 690	△ 626
IV. その他	△ 16	36	52
現預金等増減	251	314	63

2. 2021年度業績予想の概要

1 - 1) 業績予想の概要

(単位：億円)

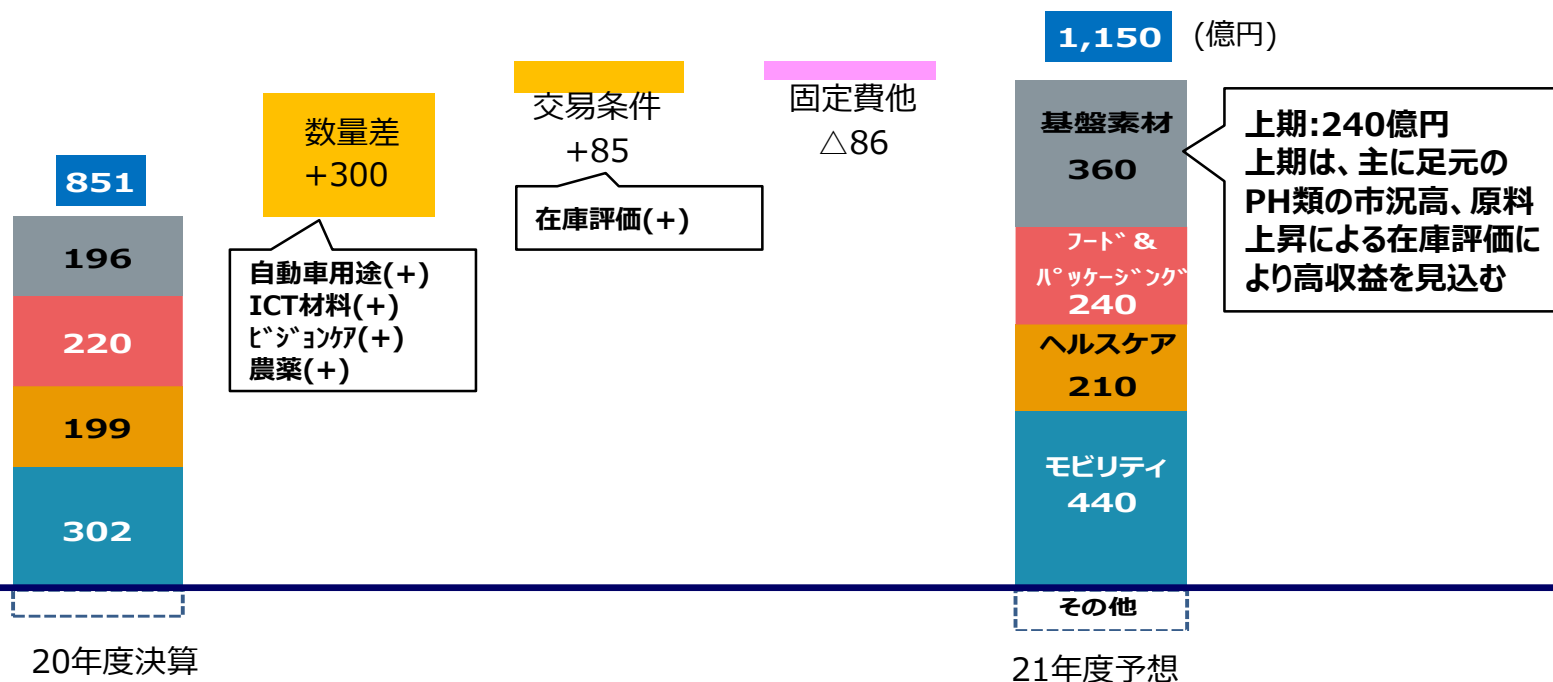
摘要	20年度決算		21年度予想		増減 (b)-(a)	
	4-9月	年度 (a)	4-9月	年度 (b)	年度	%
売上収益	5,370	12,117	6,700	14,000	1,883	16%
コア営業利益	186	851	600	1,150	299	35%
非経常項目	△ 7	△ 70	△ 30	△ 20	50	—
営業利益	179	781	570	1,130	349	45%
金融収益・費用	△ 22	△ 39	△ 25	△ 50	△ 11	—
税引前利益	157	742	545	1,080	338	46%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	96	579	415	790	211	36%

為替レート(円/US\$)	107	106	108	108	+ 2
国産ナフサ(円/KL)	27,600	31,300	48,000	48,000	+ 16,700




配当	中間	期末	中間	期末	中間増減	期末増減
		50 円/株	50 円/株	55 円/株	55 円/株	+5円/株
	通期 100 円/株		通期 110 円/株		通期 +10円/株	

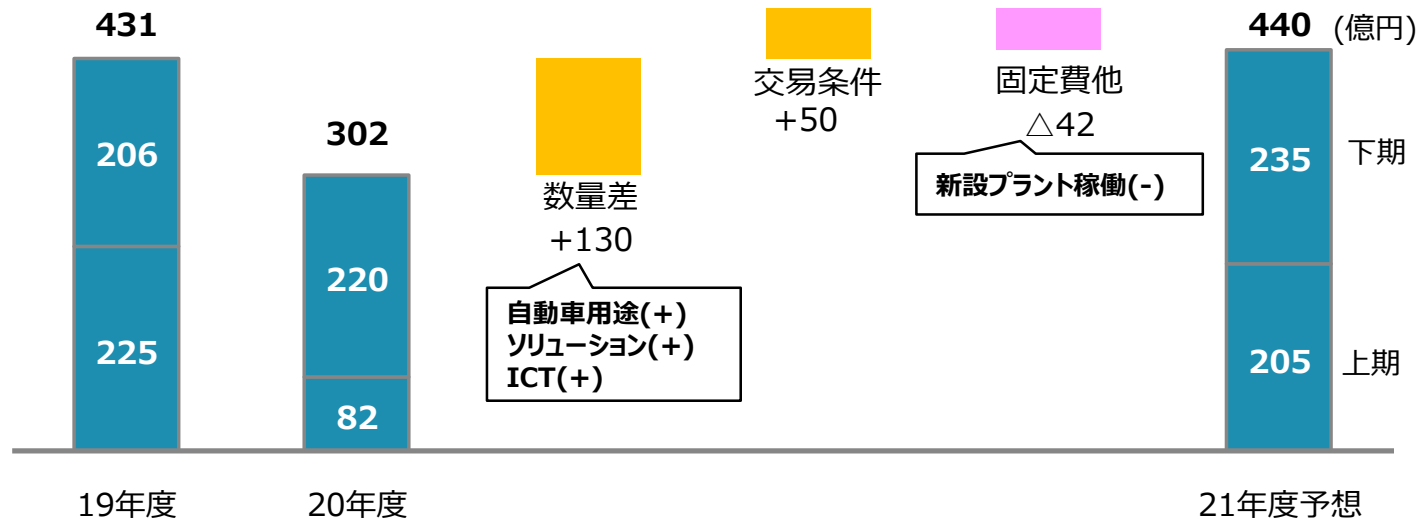
1-2) 業績予想の概要 (コア営業利益)

- ①各セグメント共に販売は回復
- ②ICT関連材料、ビジョンケア材料、農薬は成長を見込む
- ③ビスフェノールAの海外市況は、上期は引続き需給環境が逼迫し高水準
下期にかけては下落を見込む
- ④在庫評価損(含むフォーミュラー期ずれ影響)の解消
- ⑤不織布は、COVID-19による品薄状況は解消に向かい販売は減少
- ⑥新設プラント稼働、開発費用の増加、新事業やESG関連への資源投入等により固定費は増加



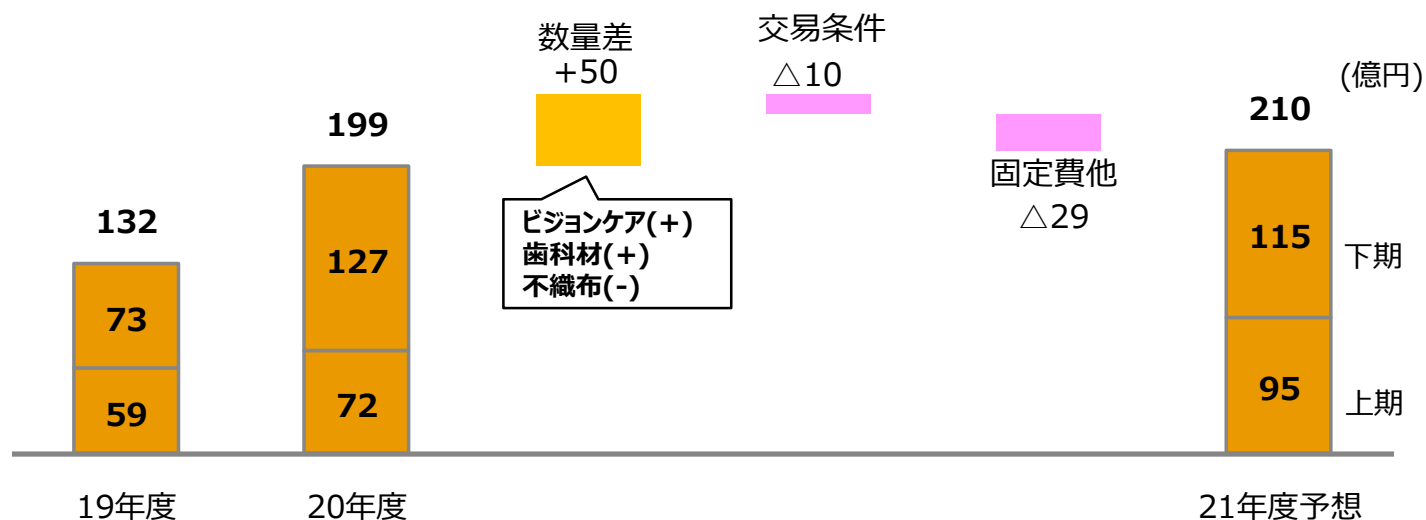
2-1) モビリティ:コア営業利益増減/事業動向変化

	コア営業利益の方向感	
	21年度予想	
		'20→'21
PPコンパウンド エラストマー 機能性コンパウンド	 <ul style="list-style-type: none"> 自動車生産台数回復に伴う販売増 新設プラント稼働による固定費増 	数量(+) 固定費(-)
機能性ポリマー	 <ul style="list-style-type: none"> ICT関連の販売は堅調に推移 新設プラント稼働による固定費増 	数量(+) 固定費(-)
ソリューション事業	 <ul style="list-style-type: none"> 受注回復に伴う販売増 	数量(+) 固定費(-)



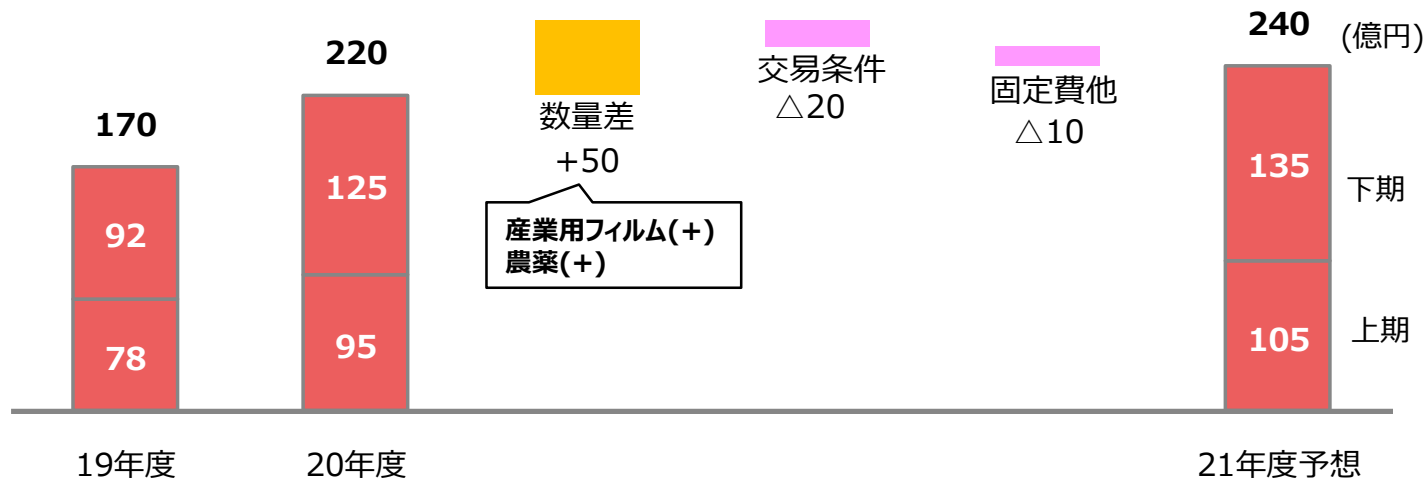
2-2) ヘルスケア:コア営業利益増減/事業動向変化

	コア営業利益の方向感		'20→'21
	21年度予想		
ビジョンケア		・販売は堅調に推移	数量(+) 固定費(-)
不織布		・COVID-19による品薄状況は解消に向かい販売減 ・原料価格上昇に伴う交易悪化	数量(-) 交易条件(-)
歯科材		・販売は堅調に推移 ・販売回復に伴う固定費増	数量(+) 固定費(-)



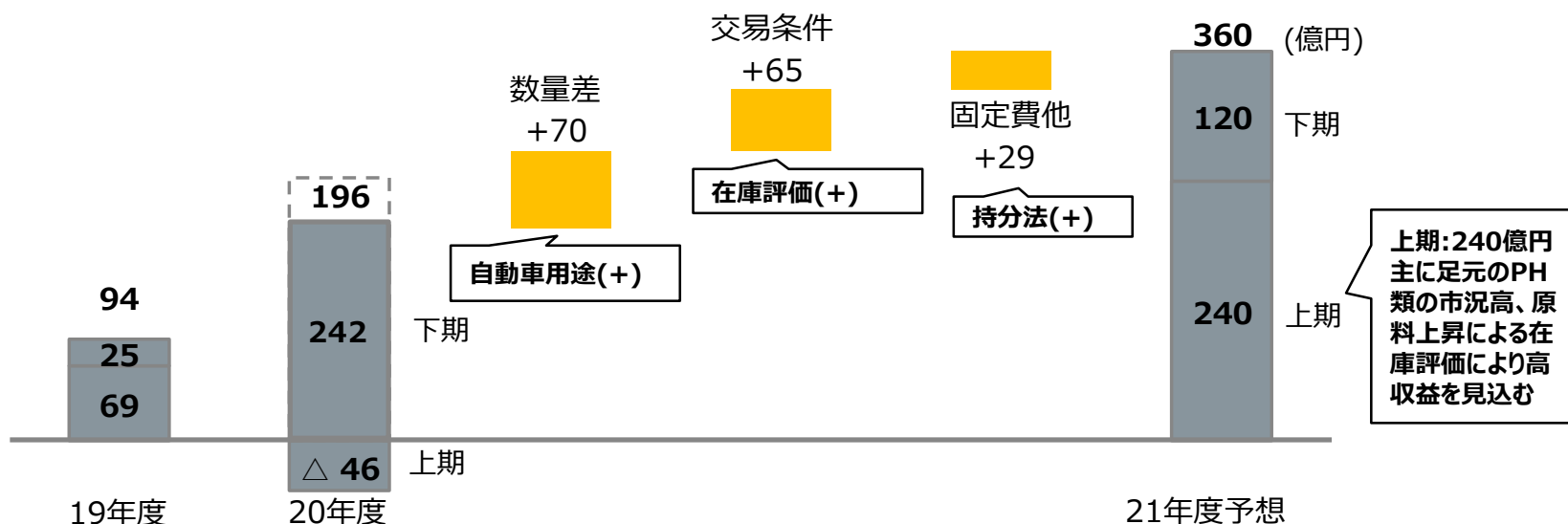
2-3) フード&パッケージング:コア営業利益増減/事業動向変化

	コア営業利益の方向感		'20→'21
	21年度予想		
包装用フィルム	➡	<ul style="list-style-type: none"> ・販売は堅調に推移 ・原料価格上昇に伴う交易悪化 	数量(+) 交易条件(-)
産業用フィルム	➡	<ul style="list-style-type: none"> ・半導体需要増加に伴う増販 	数量(+) 固定費(-)
農薬	➡	<ul style="list-style-type: none"> ・販売は堅調に推移 	数量(+) 固定費(-)



2-4) 基盤素材:コア営業利益増減/事業動向変化

	コア営業利益の方向感	
	21年度予想	'20→'21
石化	<ul style="list-style-type: none"> 川下製品の需要回復に伴いクラッカーは高稼働 自動車用途を中心に販売は堅調 在庫評価損（フォーミュラ期ずれ含む）の解消 	数量(+) 在庫(+)
基礎化	<ul style="list-style-type: none"> 需要回復に伴い販売数量回復 ビスフェノールAの海外市況は、上期は高水準で推移 下期にかけては下落を見込む 	数量(+) 持分法(+)
ウレタン	<ul style="list-style-type: none"> 市況は前年を上回る水準 	持分法(+)



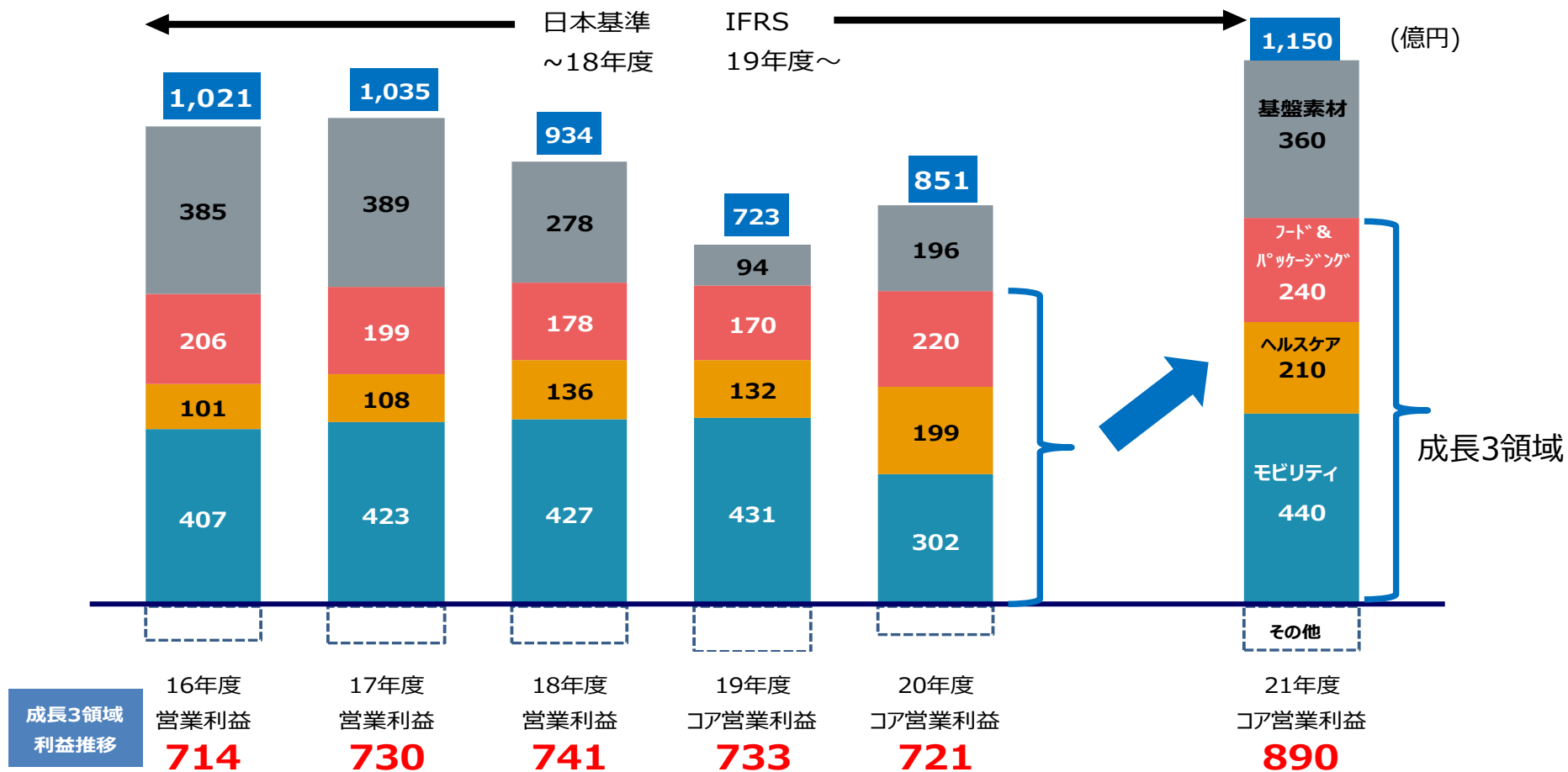
3) セグメント別 売上収益/コア営業利益の予想 (対前年決算)

(単位：億円)

セグメント	売上収益					コア営業利益				
	20年度決算		21年度予想		増減 (b) - (a)	20年度決算		21年度予想		増減 (d) - (c)
	4-9月	年度 (a)	4-9月	年度 (b)		4-9月	年度 (c)	4-9月	年度 (d)	
モビリティ	1,320	3,155	1,850	3,850	695	82	302	205	440	138
ヘルスケア	660	1,439	730	1,500	61	72	199	95	210	11
フード & パッケージング	896	1,977	1,000	2,150	173	95	220	105	240	20
基盤素材	2,426	5,414	3,050	6,350	936	△ 46	196	240	360	164
その他	68	132	70	150	18	△ 17	△ 66	△ 45	△ 100	△ 34
合計	5,370	12,117	6,700	14,000	1,883	186	851	600	1,150	299
成長3領域*	2,876	6,571	3,580	7,500	929	249	721	405	890	169

* モビリティ、ヘルスケア、フード&パッケージング

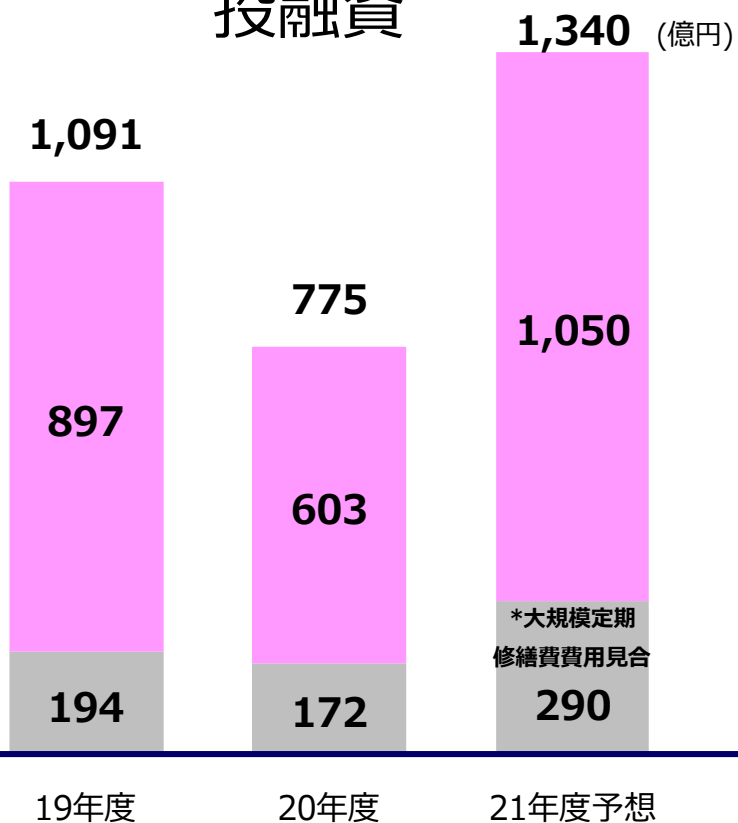
4) セグメント別業績推移



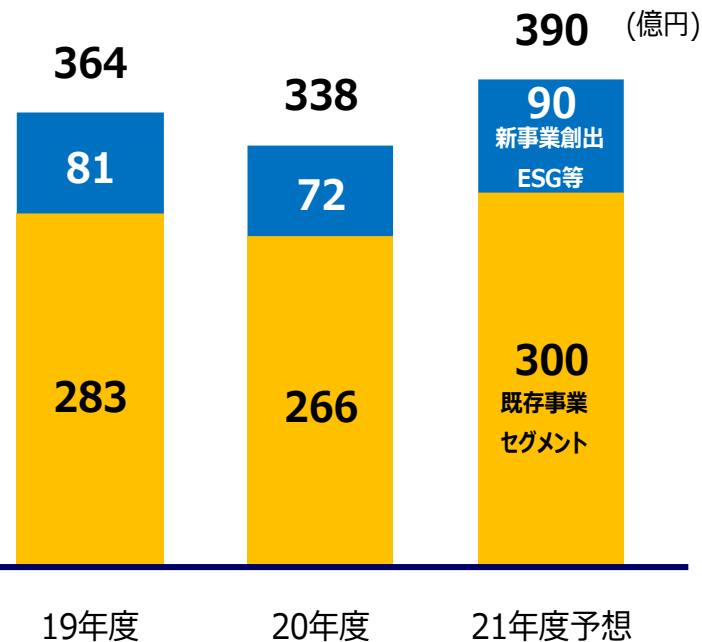
- ✓ 21年度は最高益を目指す
- ✓ 成長3領域は各セグメント共に最高益を見込む

5) 資源投入計画

投融資



研究開発費



*IFRS適用に伴い有形固定資産として認識

- ✓ ICT関連やヘルスケア分野を中心に、成長に必要な開発・投資は積極的に実行
- ✓ 研究開発費は、既存事業の成長、新製品の加速、新規事業の創出、ESG諸課題への対応等により増額を見込む

6) 株主還元

✓ 業績の動向を踏まえながら、**安定的かつ継続的な配当**の実現と、**機動的かつ柔軟な自己株式取得**による株主還元の充実を図る。

✓ DOE3.0%以上、**総還元性向30%以上**を目指す



21年度配当予想

中間

期末

年間

$$55_{\text{円/株}} + 55_{\text{円/株}} = 110_{\text{円/株}}$$

7) キャッシュ・フロー計算書の予想

(単位：億円)

摘 要	20年度決算		21年度予想		増減 (b)-(a)
	4-9月	年度(a)	4-9月	年度(b)	
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	1,111	1,743	680	1,230	△ 513
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 394	△ 775	△ 640	△ 1,340	△ 565
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	717	968	40	△ 110	△ 1,078
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 57	△ 690	160	△ 100	590
IV. その他	△ 10	36	0	0	△ 36
現預金等増減	650	314	200	△ 210	△ 524



Mitsui Chemicals

新たな顧客価値を創造し、事業活動を通じて、
社会課題を解決する